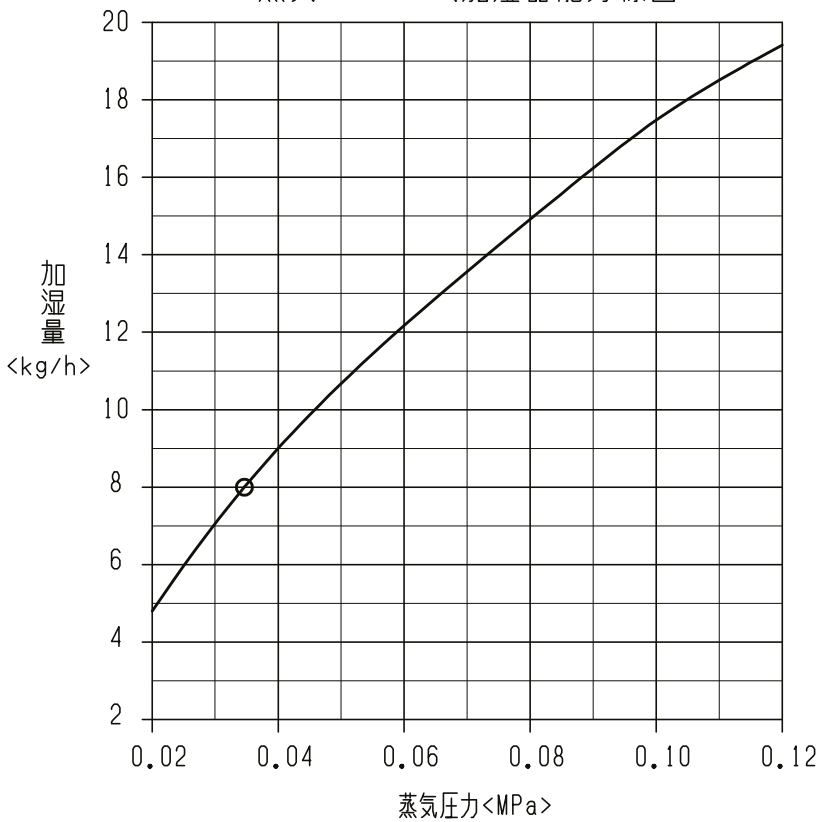


# 別売加湿器 能力線図

ユニット形名	PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A PFAK-P670AW(M)-A-F PFAV-P560M-A PFAV-P670M-A-F PFAV-P560M-E PFAV-P670M-E-F PFAV-P560CM-E-S PFAV-RP560CM-E PFAV-EP560DM-E	PFAV-P560(W)CM-E PFAV-P670CM-E-F PFT-P500CM-E PFAV-P560DM-E(1) PFAV-P670DM-E(1)-F PFT-P560DM-E(1) PFAV-P560DME3 PFAV-P670DME3-F PFT-P560DME3
別売部品		
蒸気スプレー式加湿器	PAC-CG05SS	PAC-CG10SS
水スプレー式加湿器	PAC-CG15, 25WS (PFAV-P560CM-E-S、 PFAV-RP560CM-Eのみ受注対応)	受注対応

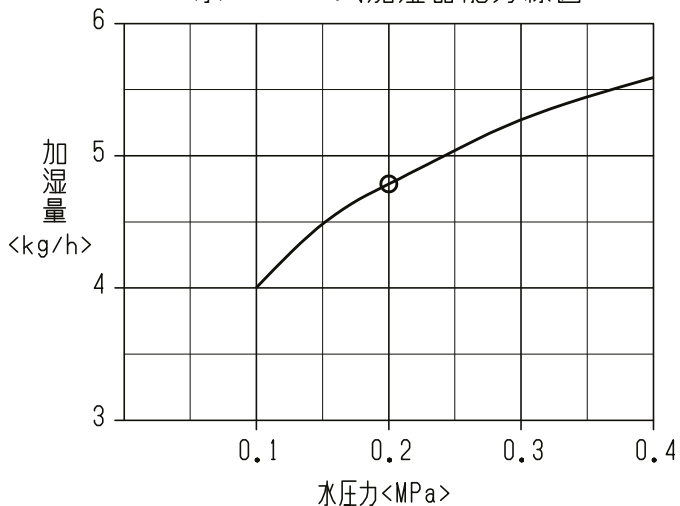
## 蒸気スプレー式加湿器能力線図



### 使用上の注意

- 図は次の電磁弁と組合せた時の性能です。  
 本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。<塞止弁にしてもよい>  
 組合せ電磁弁口径 φ10
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。  
 必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
- 蒸気圧力は0.02~0.12MPaの範囲で使用してください。
- 製品本体冷媒配管を右配管取出しにする場合は別途、別売右配管部品をお買い求めください。
- サーモ停止時には加湿器をOFFするように  
 PFAK, PFTK形の場合は製品本体制御基板のDIPSW4-6、  
 PFAV形の場合はDIPSW1-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。  
 サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、  
 条件(風量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては  
 加湿器からの蒸気が結露し、機外に露が飛び出る場合があります。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒータと同時組込みしてください。

## 水スプレー式加湿器能力線図



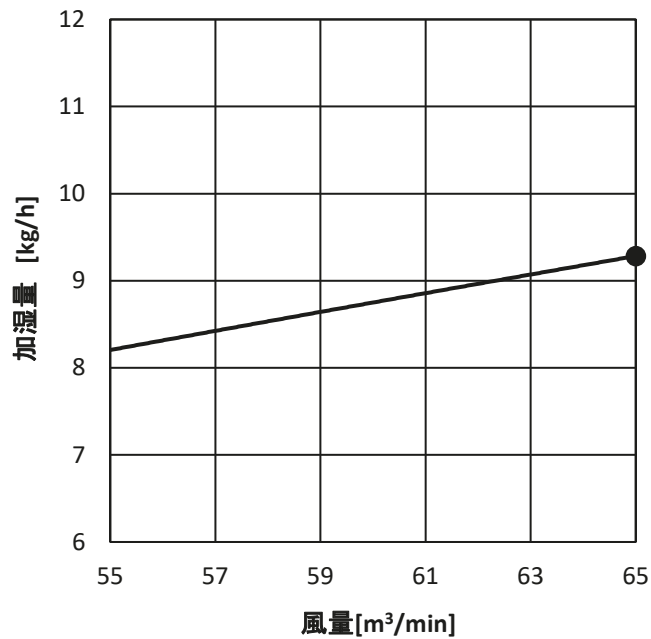
### 使用上の注意

- 供給水としては60℃以下、水圧0.1~0.4MPaの範囲で使用してください。
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水洩れが発生することがあります。
- 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は左記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
- 製品本体冷媒配管を右配管取出しにする場合は別途、別売右配管部品をお買い求めください。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒータと同時組込みしてください。
- ご使用のユニットがPFAV-P560(W)CM-E形、PFAV-P560DM-E(1)形、PFT-P560DM-E(1)形、PFAV-P560DME3形、PFT-P560DME3形で、別売部品の吸込ダクトフランジを組込んでいる場合、風量は必ず200m/min以下でご使用ください。  
 風量が多いと露飛びする危険があります。

## 滴下浸透気化式加湿器 能力線図

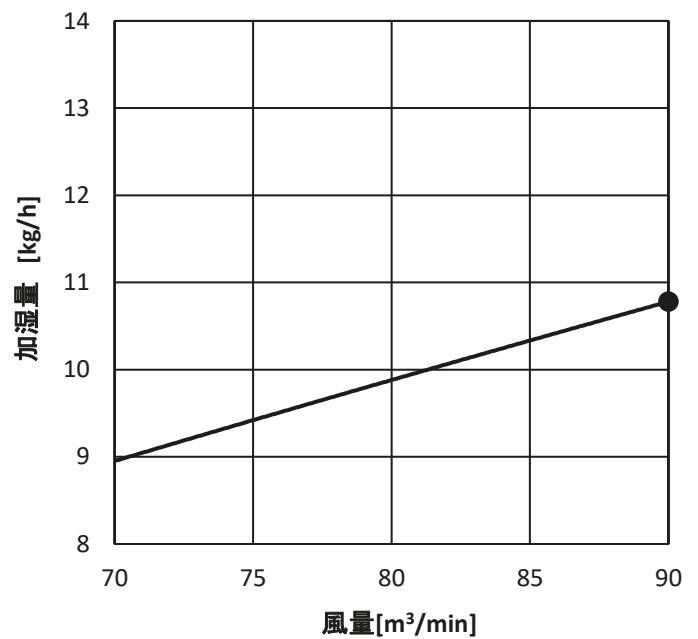
線図の●印は標準風量(使用可能風量)を示します。  
加湿器入口空気温湿度40°C・15%RHにおける値を示します。

・PFAV-P224DME3



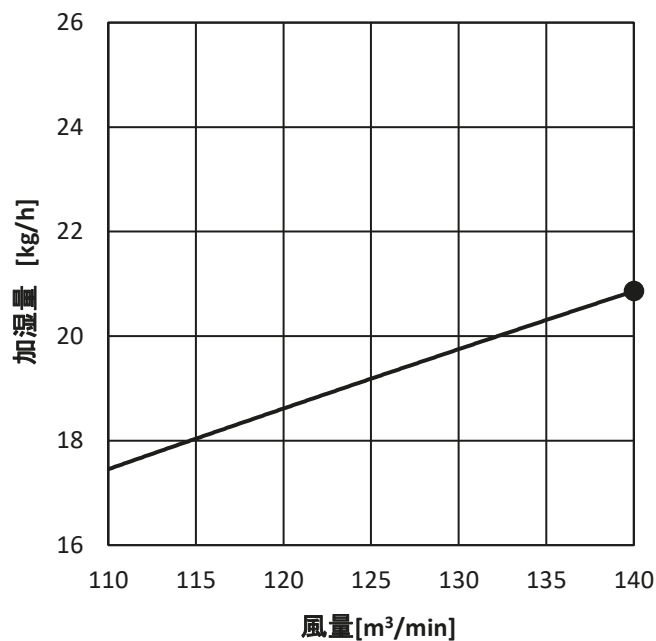
風量は55～65m<sup>3</sup>/minの範囲でご使用ください。

・PFAV-P280DME3



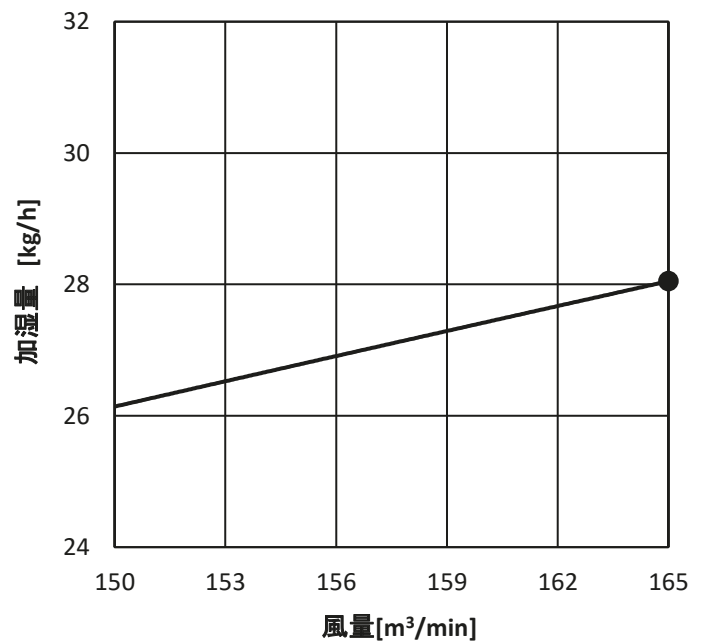
風量は70～90m<sup>3</sup>/minの範囲でご使用ください。

・PFAV-P450DME3



風量は110～140m<sup>3</sup>/minの範囲でご使用ください。

・PFAV-P560DME3



風量は150～165m<sup>3</sup>/minの範囲でご使用ください。